

ター、発表部門、日時など)は、化学フェスタ実行委員会に一任とします(希望と異なる場合もあります)。

(オ) ポスター番号の通知

申込時に入力したE-mailアドレス宛に通知します。通知未着の場合には、事務局までお問い合わせ下さい。

(カ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかかわらず、講演予稿原稿を提出した後の差し替え、取り下げは認められません。

(キ) 公知

講演予稿集をもって特許における公知日とされる方は、発行日以降権利が6ヵ月保留されることとなります。特許出願の際に必要な発表証明については、下記URLをご参照下さい。<http://www.csj.jp/news/happyo-syomei.html>

インターネットでの公開内容も研究内容の公知に当たります。

(ク) 著作権

講演予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったときは本会において検討の上、許可することとします。

(ケ) ポスター賞(仮称)

優秀なポスター発表にはポスター賞(仮称)を授与する予定です。

2. ポスター発表について

(ア) 発表内容と発表者の条件

発表内容は討論に重点を置くため、既発表を含んでも構いません。発表者は、学生に限ります。

(イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分です。ポスターボードのサイズは縦180 cm×横90 cmの予定です。

(ウ) 登壇料について

発表者には登壇料をお支払いいただきます。登壇料には講演予稿集1部が含まれています。別途参加登録費のお支払

いの必要はありません。

区分	料金
学生会員	3,000円
非会員学生	4,000円

登壇料は、10月中旬に登録いただいた連絡先へ請求書・振替用紙を送付いたしますので、必要事項を記入の上、期日までにお支払い下さい。

*…登壇料の課税区分は課税です。

(エ) 発表言語

日本語もしくは英語とします。

3. 発表申込分類

ポスター発表の申込分類は以下のとおりです。

1. 物理化学
2. 無機化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 触媒化学
8. 材料化学

4. 予稿原稿

(ア) 提出期間

2011年8月22日～9月20日

※締切期日までに講演予稿原稿の提出がない場合は、講演を中止したものとしますのでご注意ください。

(イ) 提出方法

予稿原稿をA4判用紙1/3程度で作成の上、PDF版を、本大会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/festa/>)上の投稿フォームからご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードをお使い下さい。フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できかねますのでご注意ください。

(ウ) 作成方法

本大会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/festa/>)上のテンプレートを使用して下さい。

日本化学会第92春季年会(2012)のお知らせ

第92春季年会実行委員会

第92春季年会(2012)は、2012年3月25日(日)より4日間にわたり慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャンパスにて開催いたします。

前回の春季年会は東日本大震災のために中止となり、会員の皆様におかれましては大変残念な思いをされたことと存じます。春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展及び生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの年会では、6,000件にも及ぶ発表がなされますが、前回の中止を受けた今回の春季年会におきましては特に、これまで以上の研究発表の応募を期待しています。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学官や産産の交流・連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)」を紹介いたします。

これに加え、3時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」、会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「特別講演」、次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄(8・10・11・13月号)でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開してまいりますので併せてご覧下さい。

- 会期** 2012年3月25日(日)～28日(水)
会場 慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャンパス(神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
実行委員長 西山 繁(慶應義塾大学理工学部・教授)
内容 アカデミック・プログラム(AP:一般研究発表)(口頭・ポスター)
 アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)(口頭・ATPポスター)
 特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座
 中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・若い世代の特別講演・その他委員会企画ほか
重要な日程 講演申込期間 2011年11月15日～12月1日 詳細は本誌10月号
 予稿原稿提出期間 2012年1月6日～18日
 参加予約期間 2012年1月23日～2月24日 詳細は本誌1月号
 プログラム公開 2012年2月20日(予定)
 予稿集発行日 2012年3月9日(予定)
問合せ先 日本化学会 企画部 年会係
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
 URL: <http://www.csj.jp/nenkai/>

アカデミック・プログラム(AP:一般研究発表)の講演申込者及び講演者は原則として本会会員に限ります(アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)の場合は非会員でも申込が可能)。発表予定の方で未入会の方はお早めに当会ウェブサイト(<http://www.csj.jp/kaiin/index.html>)よりご入会の手続きをお願いします。入会手続きに関してのお問合せは下記までお願いします。

- 問合せ先 日本化学会 総務部 会員担当
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6169 FAX(03)3292-6317 E-mail: member@chemistry.or.jp

1. アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)

春季年会では産業界が注目する化学技術分野を中心とする研究発表を通じて広く産学官や産産の交流・連携の促進を図る目的で、2005年よりアドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)を実施してきました。

8年目を迎える今期のATPでは、実施が叶わなかった前回の方針を継承するとともに、東日本大震災以降の社会において化学の果たすべき役割という視点も入れて、以下の方針のもと、このATPに参加される誰もが共感できる有用なプログラムを提供していくことを計画しております。

Advanced Technology Program 2012

化学の『夢』を共有し実現するための出会いの場『ATP』で最先端シーズを育て、社会のイノベーションへつなげよう!

- 化学の『夢』と産学官のニーズを紹介!
- 社会のイノベーションにつながる最先端シーズを提供!
- シーズとニーズの出会い、異分野の人との出会いにより加速される“深化”と“進化”、そして“新化”への新たな展開!
- 仕上げのほどを潤おしながら、次につながる交流を!

開催期間 2012年3月25日～28日

※実施フィールド・セッションにより異なる

開催場所 第92春季年会会場 [慶義塾大学]

実施フィールド 「先端機能材料」, 「環境・資源/新エネルギー」, 「バイオケミカルズ」

※特色と留意点 1) 会員・非会員を問わず、広く産学官からの発表を募ります。2) 既に発表したもの、特許化・製品化済みのものも、発表できます。3) 化合物名や構造を可能

な限り開示して、より深い議論を目指します。4) 昨年度の施策を引き継ぎ、新しい出会いと交流の場を様々な形で提供します。

*最新情報はウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開いたしますのでご覧下さい。

2. 春季年会実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年会では、中・長期戦略に基づくシンポジウム「中長期テーマ」と複数の化学関連領域にインパクトがあり、新領域への発展が期待される分野の調査報告を行う「第2次先端ウォッチング イブニングセッション」を実施予定です。※テーマや趣旨につきましては、決まり次第ウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時ご連絡いたします。また、詳細につきましては本誌1月号に掲載予定です。

3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内(9時30分～12時30分または13時30分～16時30分)で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することとなり、開催日及び時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。なお、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等

のお支払いはしていません。あらかじめお含み置き下さい。

1. 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
2. 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
3. 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
4. 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会及び実行委員会にて検討し、10件程度を採択させていただきますが、企画案によっては修正をお願いする場合があります。採択された特別企画につきましては、10月末までに最終企画書を再提出いただきます。

なお、第91春季年会で採択された特別企画と同内容での応募はお受けできませんのでご注意ください。応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」及び「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようにご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認ください。

開催日 第92春季年会会期の初日もしくは最終日

開催時間 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 企画タイトル (和文/英文/略称)
2. 趣旨文 (約300字)
3. プログラム案もしくは講演者案
4. 開催予定日 (2012年3月25日及び28日) のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
5. 予想聴講者数
6. 企画責任者氏名、所属 (官学界、産業界各1名)
7. 応募者氏名及び連絡先 (勤務先所在地、電話番号、FAX番号、E-mail)

締切 2011年9月26日 (月) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
電話(03)3292-6163

4. 「特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演 (講演時間50分) 願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会及び実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払い及び接待はいたしかねますので、あらかじめお含み置き下さい。

なお、第91春季年会で採択された特別講演と同内容での推薦はお受けできませんのでご注意ください。

講演日時 第92春季年会会期中 (採択時に決定)

講演時間 50分

推薦方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演候補者名・所属・役職・国名・演題 (仮題)
2. 専門 (なるべく詳しく) 及び推薦理由
3. 略歴 (年齢もお書き下さい)
4. 講演希望日 (会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望に沿えない場合もありますのであらかじめご了承下さい。例: 3月27日午後)
5. 講演会場希望 (特別講演用会場もしくは一般会場)
6. 推薦者氏名及び連絡先 (勤務先所在地、電話番号、FAX番号、E-mail)

締切 2011年9月26日 (月) 締切厳守
※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

推薦先 日本化学会 企画部 年会係
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
電話(03)3292-6163

5. 第26回若い世代の特別講演会講演者募集

化学及び化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっております。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学及び化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようご案内いたします。

会期 第92春季年会会期中

会場 第92春季年会会場 [慶應義塾大学]

講演件数 選考の上、20件以内 (講演時間: 25分+討論5分)

応募資格 本会に1年以上在籍する40歳未満 (2012年4月1日現在) の個人会員。ただし、本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

応募方法 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 講演申込書 (①講演部門, ②講演題目, ③氏名, ④生年月日, ⑤会員番号, ⑥所属, ⑦連絡先, ⑧略歴)
2. 講演内容 (図表を含め2枚)
3. 講演に直接関連した発表論文リスト (学会発表, 特許等を含み10件以内)
4. 申請趣旨 (研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの)

講演部門 1. 物理化学, 2. 無機・分析化学, 3. 有機化学, 4. 材料化学・高分子化学, 5. 天然物化学・生体関連化学 (医薬品を含む), 6. 複合領域 (情報・計算機化学, 地球化学, 環境化学, 資源・エネルギーを含む)

締切 2011年9月26日 (月) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
電話(03)3292-6163